日本語版

SHOFU SureFile

松風シュアファイル for MD TrinityCore

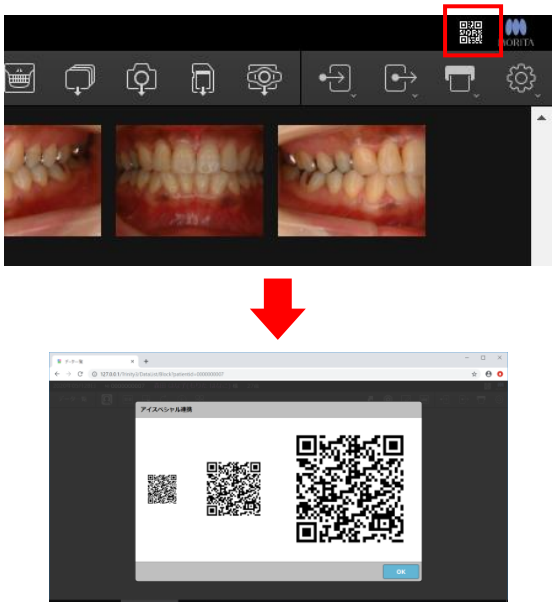
本ソフトの概要 1
本ソフトの起動方法 3
使用方法 4
MD Suite/TrinityCore3 との連携方法 8
ＱＲコードのスキャンについて 10
Ｑ＆Ａ 11
参考情報 12
仕様 15

For MD Suite/TrinityCore　Ver.4.x

SHOFU INC.

本ソフトの概要

本ソフトは「アイスペシャル C-Ⅱ」、「アイスペシャル C-Ⅲ」、「アイスペシャル C-Ⅳ」、「アイスペシャル C-V」および「アイスペシャル C-Ⅵ」専用の画像振り分けソフトです。
株式会社モリタ製「MD Suite」、「TrinityCore3」と連携し、MD Suite/TrinityCore3 で選択した患者の QR コードをアイスペシャル C-Ⅱ～C-Ⅵでスキャンしてから撮影し、撮影された SD カードをパソコンに差し込むだけで患者情報に基づいた画像の振り分けを自動的に行うことができます。
※以下の画面は TrinityCore3 の操作画面です。



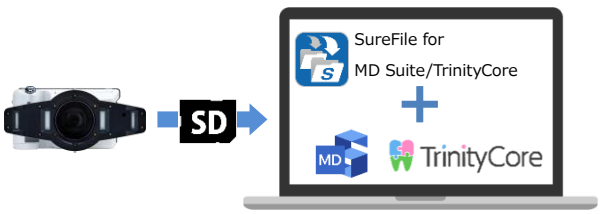
① MD Suite/TrinityCore3 で患者を選択し、「QR 表示」ボタンを押して QR コードを表示する。



② アイスペシャル C-Ⅱ～C-Ⅵで[識別情報]メニューから QR コードをスキャンする。



③ 続けて患者を撮影する。



④ SD カードをパソコンに挿入する。

※本ソフトをお使いいただくためには、別途、株式会社モリタ製「MD Suite」または「TrinityCore3」が必要になります。また、「SureFile for MD Suite/TrinityCore」と「MD Suite」、「TrinityCore3」を連携させるためには設定作業が必要となります。

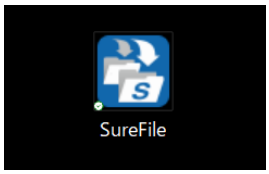
※「MD Suite」、「TrinityCore3」に関するご質問およびシステム連携に関するご質問は、株式会社モリタへお問い合わせください。

※「TrinityCore3」は Version 1.1.0 以降で対応しています。

- 「MD Suite」、「TrinityCore3」は株式会社モリタの商標です。
- Microsoft、Windows、Windows 11 は米国 Microsoft® Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
- SD ロゴ、SDHC ロゴ、および SDXC ロゴは、SD-3C, LLC の登録商標です。
- USB、USB Type-C は、USB Implementers Forum の登録商標です。
- QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

本ソフトの起動方法

デスクトップ上のアイコンをダブルクリックします。
（スタートメニューから、「すべてのアプリ」→「SHOFU」→「SureFile for TrinityCore」を選択することでも起動できます。）

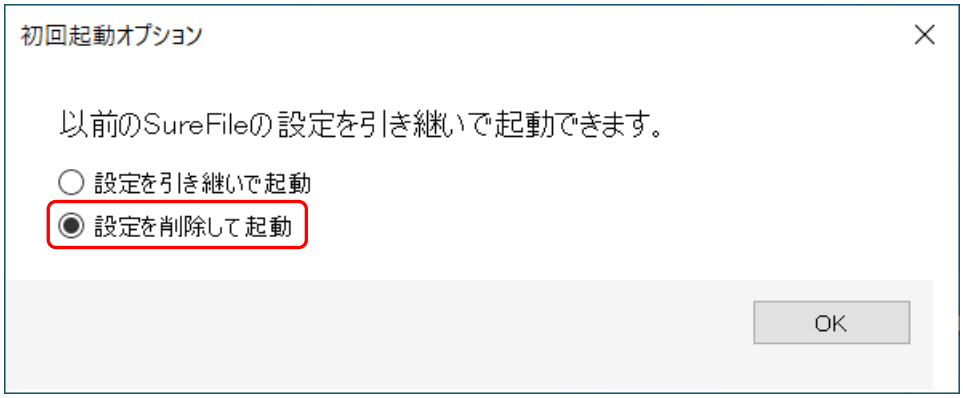


タスクトレイに以下のアイコンが表示されていることを確認します。



初回起動時のオプションについて

インストール直後の初回起動時に下記画面が表示されます。
標準版など、他の種類の SureFile からの入れ替えの場合は必ず「設定を削除して起動」を選択してください。



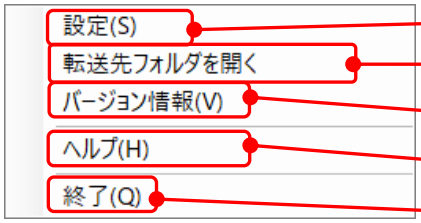
参考

- 次回以降は自動的に起動するように設定されています。
- 設定から、自動的に起動しないように変更することもできます。

使用方法

ここでは本ソフトウェアの機能について説明します。

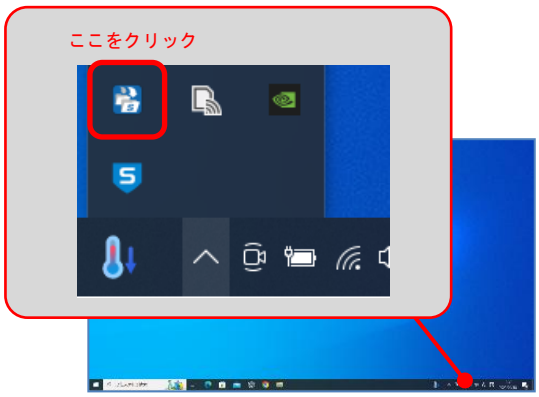
メニュー画面



- 設定画面が開きます
- 設定されている転送先フォルダを開きます
- アプリケーションのバージョン情報を表示します
- アプリケーションのマニュアルを表示します（本マニュアル）
- アプリケーションを終了します

メニューの表示方法

タスクトレイのアイコンを右クリックするとメニュー画面が表示されます。

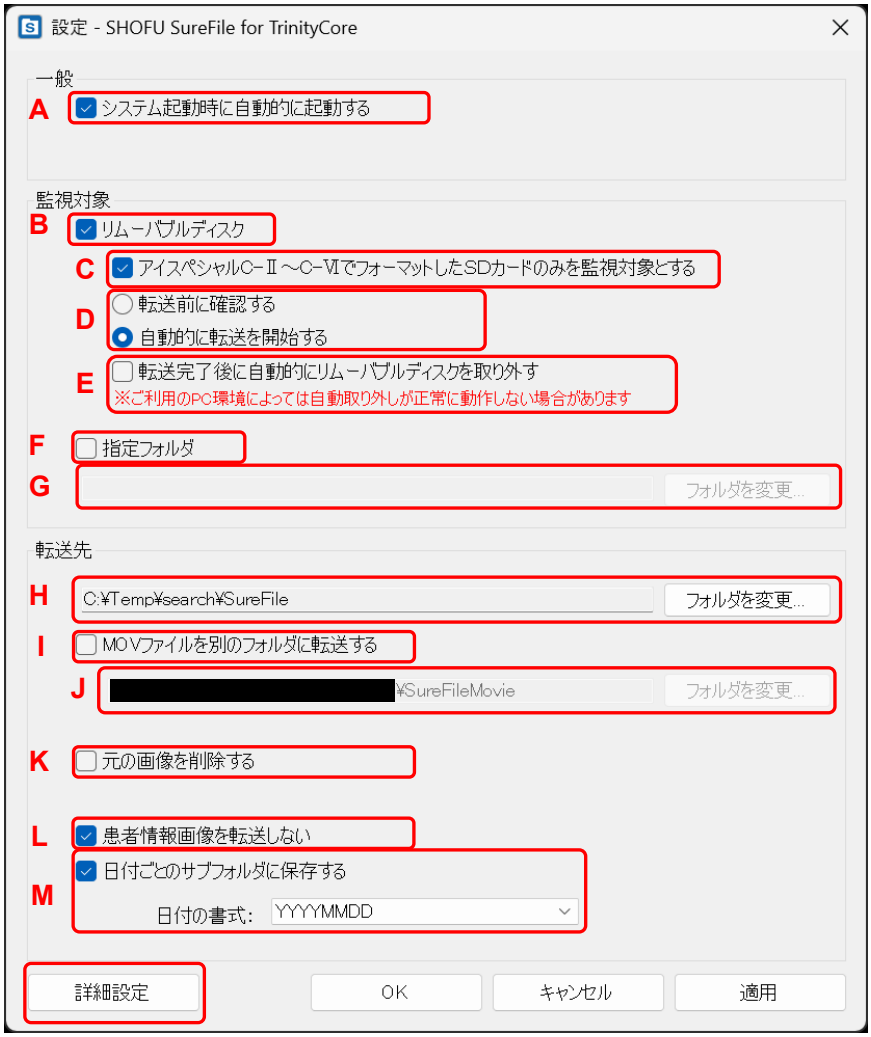


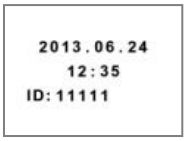
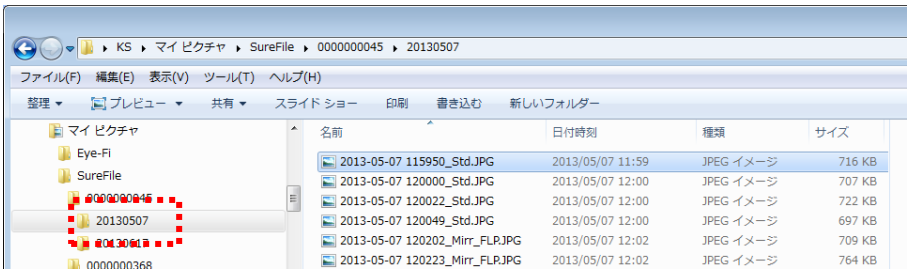
設定

本ソフトの基本設定及び画像の振り分け条件の設定を行います。

各機能を有効にするにはチェックボックスをクリックしてチェックマークをつけます。

【 設定画面 】

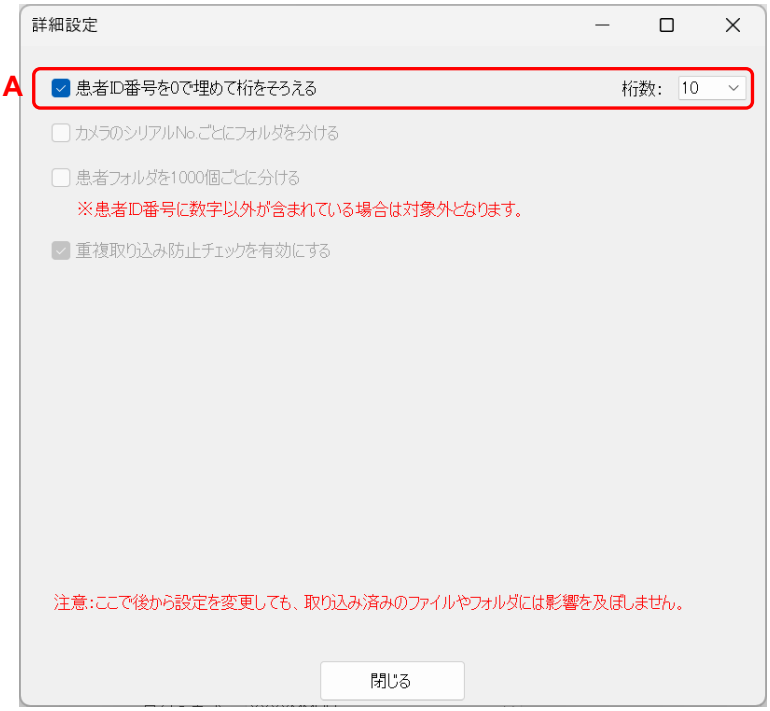


一般	
A	パソコン起動時に本ソフトも自動的に起動します。
監視対象	
B	SD カードから画像を転送する場合はチェックします。
C	アイスペシャル C-Ⅱ～C-Ⅵでフォーマットした SD カードのみを監視対象にしたい場合にチェックします。 この機能を有効にしておくと、アイスペシャル C-Ⅱ～C-Ⅵ以外で使用している SD カードや USB メモリなどの他のリムーバブルディスクを挿入しても取り込みが開始されません。
D	画像転送前に確認するか、確認せずに自動的に転送を開始するか選択します。
E	転送完了後に自動的にリムーバブルディスクを取り外す/取り外さないを選択します。
F	指定フォルダを利用して画像を転送する場合はチェックします。
G	監視対象としたいフォルダを設定します。 ※指定フォルダ以下のすべてのフォルダが監視対象になります。
転送先	
H	静止画の転送先のフォルダを指定します。 ※振り分けられた画像が保存されるフォルダです。
I	動画の転送先フォルダを静止画と別にする場合はチェックします。
J	動画の転送先のフォルダを指定します。 ※振り分けられた画像が保存されるフォルダです。
K	SD カード/指定フォルダ内に保存されていた画像を転送完了後、削除します。
L	右図のような識別情報画像を転送しないようにします。  識別情報画像
M	患者フォルダ内に、日付ごとのサブフォルダが作成されます。 日付の書式はドロップダウンリストから 12 種類を選択できます。 
N	フォルダ名の命名規則を変更するなど、より詳細に設定を変更することができます。

詳細設定

フォルダ名の命名規則を変更するなど、より詳細に設定を変更することができます。

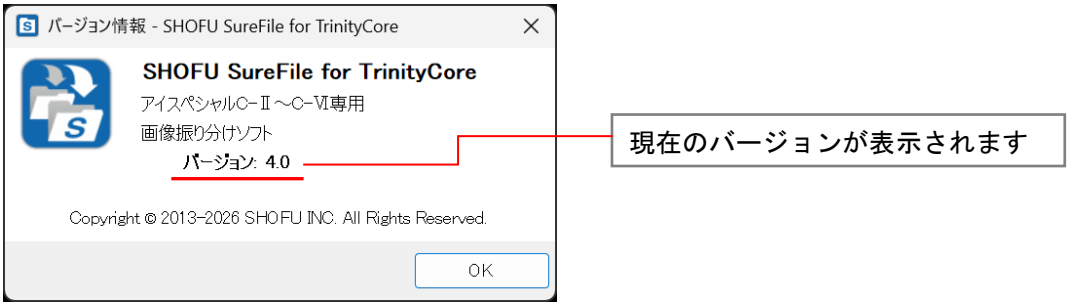
【詳細設定画面】



A	患者 ID 番号ごとのフォルダを作成する際に、0 で埋めて桁数をそろえる機能の ON/OFF を設定します。 また、表示桁数を変更することもできます。

バージョン情報

現在インストールされているソフトウェアの情報を表示します。



MD Suite/TrinityCore3 との連携方法

※MD Suite/TrinityCore3 の詳細な使用方法については、MD Suite/TrinityCore3 のマニュアルを参照してください。また MD Suite/TrinityCore3 の操作に関してご不明な点は株式会社モリタにお問い合わせください。

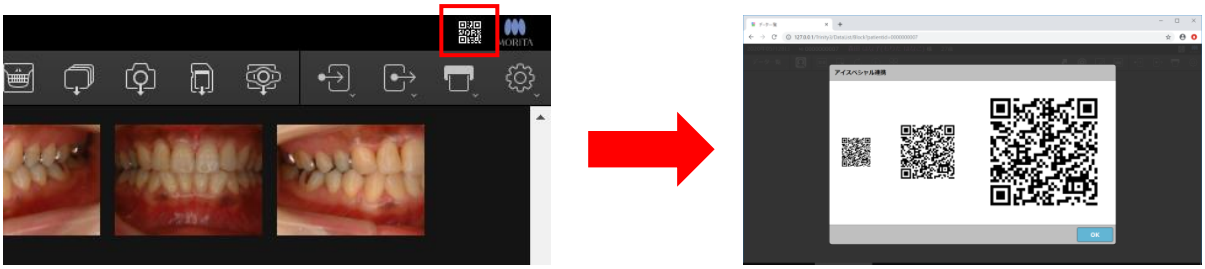
※以下の画面は TrinityCore3 の操作画面です。

1. 「SureFile for MD Suite/TrinityCore」を起動した状態にします。
   ※SureFile for MD Suite/TrinityCore は設定を変更する場合を除いて、とくに操作を行う必要はありません。

2. 「MD Suite」または「TrinityCore3」を起動します。

3. MD Suite/TrinityCore3 で患者を選択し、患者情報を呼び出してください。

4. 患者検索/登録ボタンを押して患者 QR コードを表示させてください。



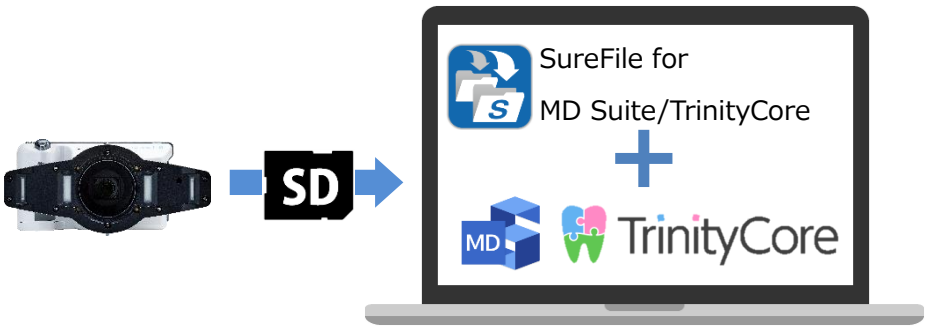
5. 表示された QR コードをアイスペシャル C-Ⅱ～C-Ⅵでスキャンしてください。
   ※この操作は、患者様の口腔内を撮影する前に行ってください。
   ※スキャン方法の詳細は P.8 を参照してください。



6. 続けて、患者様の口腔内を撮影してください。



7. 撮影が終わったら、SD カードをパソコンに挿入してください。SureFile for MD Suite/TrinityCore にて MD Suite/TrinityCore3 への転送が開始されます。

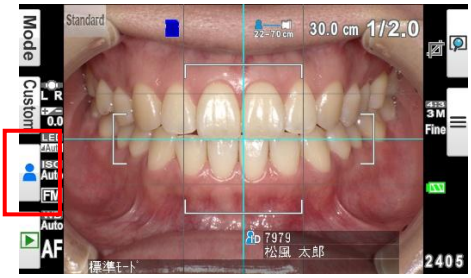


8. 転送が完了した後、MD Suite/TrinityCore で全ての患者を取り込みする場合は「アイスペシャル一括取り込み」を、選択患者のみを取り込みする場合は「アイスペシャル取り込み」ボタンを選択してください。

ＱＲコードのスキャンについて

■QR コードのスキャン方法ついて

1．撮影モード画面で識別情報キーをタッチしてください。



2．識別情報画面が出たら、「QR コードから入力」をタッチしてください。



3．白枠の少し内側に QR コードが収まるようカメラを前後左右に動かして調節し、シャッターを半押ししてください。



ポイント
- 真上から撮影する。
- 白枠の少し内側に収まるようにする。
- ブレないようにしっかり構える。

Q＆A

Q１. SureFile（標準版）と SureFile for MD Suite/TrinityCore の同時使用はできますか？

A１. できません。SureFile for MD Suite/TrinityCore をお使いいただくには、SureFile（標準版）をアンインストールする必要があります。

Q２. SureFile（標準版）ですでに取り込んだ画像がパソコン内にある場合、アンインストールするとどうなりますか？

A２. SureFile（標準版）をアンインストールしても画像はパソコン内に残ります。

Q３. SureFile（標準版）ですでに取り込んだ画像を MD Suite/TrinityCore3 に登録するにはどうしたらいいですか？

A３. MD Suite/TrinityCore3 の標準機能を使って、手動で取り込んでください。

Q４. QR コードをスキャンせずに撮影した画像を MD Suite/TrinityCore3 に取り込むにはどうしたらいいですか？

A４. MD Suite/TrinityCore3 の標準機能を使って、手動で取り込んでください。

Q５. SD カードからパソコンへの転送は一患者ごとに行う必要がありますか？それとも複数の患者をまとめて転送することが可能ですか？

A５. 撮影前に正しく患者ごとの QR コードのスキャンを行えば複数患者の一括転送は可能です。

Q６. 撮影後にパソコンに SD カードを挿入しても自動的に転送されない。

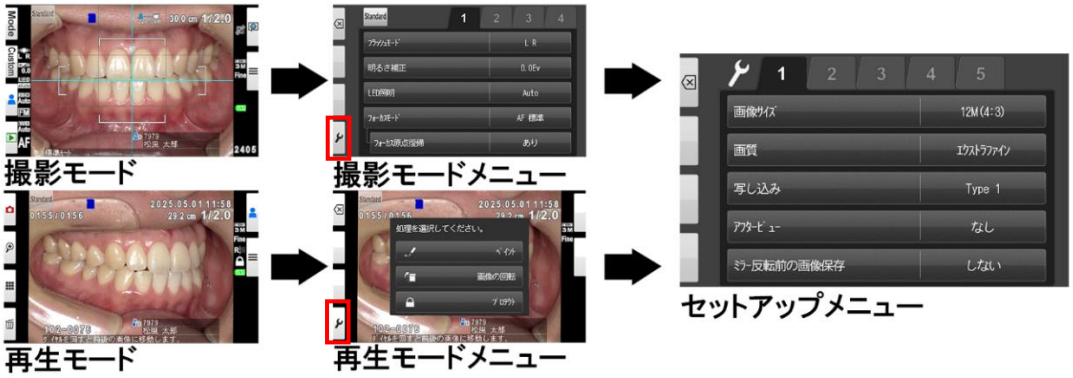
A６. SD カードをご使用前にアイスペシャル C-Ⅱ～C-Ⅵでフォーマットされていることを確認してください。

※SureFile for MD Suite/TrinityCore ではアイスペシャル C-Ⅱ～C-Ⅵでフォーマットした SD カードのみを転送する仕様です。

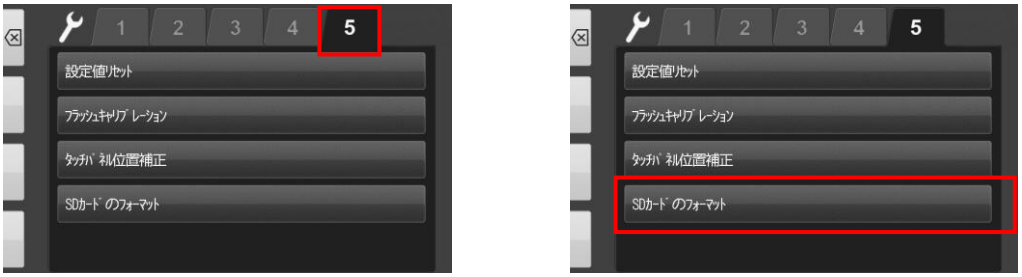
参考情報

■アイスペシャル C-Ⅱ～C-Ⅵで SD カードをフォーマットする方法

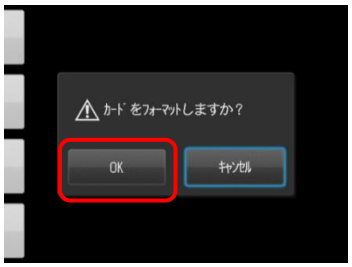
1．撮影モードまたは再生モードから（MENU キー）を押し、さらに（セットアップキー）を押します。



2．タブ５を選択し、その後「SD カードのフォーマット」を選択します。



3．「カードをフォーマットしますか？」というメッセージが表示されたら「OK」を選択します。



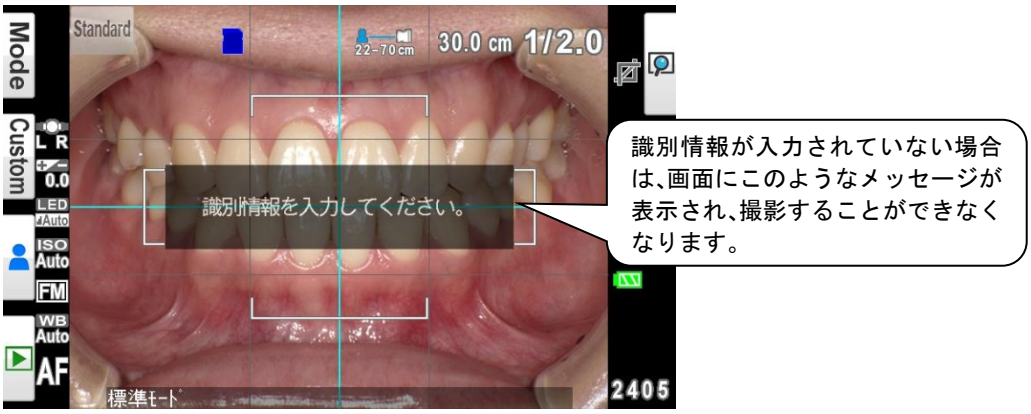
4．SD カードのフォーマットが完全に終了したことを確認してから、SD カードを取り出してください。

注記

SD カードをフォーマットすることで、SD カード内の画像・動画データはすべて消去されます。必要に応じてフォーマットを行う前にパソコンなどへデータをバックアップしてください。

■アイスペシャル C-Ⅳ/C-Ⅴ/C-Ⅵで識別情報の入力を必須化する方法

アイスペシャル C-Ⅳから識別情報を入力しなければ撮影ができないように機能変更することが可能です。
この機能をお使いいただくことで、識別情報の入力忘れを防止することができます。



識別情報入力必須化 ON のとき

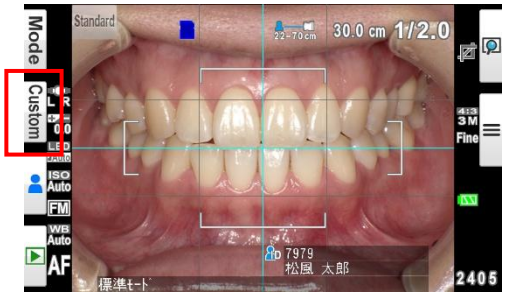
[機能変更の方法]

機能変更は以下の QR コードを使用します。

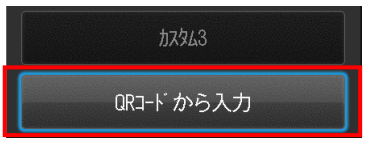
【識別情報入力必須化 ON 用】　　【識別情報入力必須化 OFF 用】

[QR コードのスキャン方法]

1. 撮影モード画面でカスタムキーをタッチしてください。



2. カスタムモード画面が出たら、[QR コードから入力]をタッチしてください。



3．白枠の少し内側に QR コードが収まるようカメラを前後左右に動かして調節し、シャッターを半押ししてください。



4．下記の画面が表示されたら、「OK」をタッチしてください。



注記

- アイスペシャル C-Ⅱ/C-Ⅲでは本機能をお使いいただくことはできません。
- 識別情報メニュー内にある[QR コードから入力]からはスキャンできません。
- 元の状態に戻すためには、識別情報入力必須化 OFF 用 QR コードをスキャンしてください。

仕様

アイスペシャル C-Ⅱ～C-Ⅵ専用　画像振り分けソフト（MD Suite/TrinityCore3 専用）

・動作環境

対応 OS

Microsoft　Windows11

注記

本ソフトウェアはアイスペシャル C-Ⅱ～C-Ⅵ以外で撮影された画像ではご利用いただけません。

噛む、笑う、生きる、を支える。
株式会社 松風
〒605-0983 京都市東山区福稲上高松町11
お客様サポート窓口 TEL:075-778-5482
受付時間 8:30～12:00 12:45～17:00 (土日祝除く)